

# 社会貢献を考える 店舗や企業を募集中！

賛同する仲間を募集！  
こどもの応援

KOBewith

## 【事例紹介】

芦屋市東芦屋町  
あげぱん専門店「パイクとそら」  
店主・川端輝彦さん

みんなが少しずつ、  
優しさを循環させる社会を  
実現したい。

地域社会にとって「こどもは宝もの」。

こどもの笑顔を守り地域社会で守る『笑顔のあげパンプロジェクト』を全国で広げていきたい。



「こどもたちに夢と希望を抱いて欲しい」と語る川端さん

2019年オープンの芦屋市のあげパン専門店「パイクとそら」。店主の川端さんが今年1月から取り組む『笑顔のあげパンプロジェクト』では、お客さまから寄付を募り、寄付金100円につき、あげパン1個をつくり、毎月最終水曜日に神戸市の母子生活支援施設に届けられています。

想いに賛同するお客さまが少しずつ増え、現在では90～100個のあげパンを提供。それ以上に寄付金が集まったときには、施設へ必要なものをヒアリングし、物品を購入して、お渡しすることも。修学旅行へ行くときに順番に使うボストンバック、ゆりかごや哺乳瓶など、施設が今必要としている物資を贈り届けています。

7月には施設のこどもたちを初めて店舗へ招待。「外出を控える日々が続いているからこそ、楽しい夏の思い出になれば」とお腹いっぱいあげパンを楽しんでもらい、食後にはスーパーボールすくいなどで遊ぶなど、子どもたちとの交流を深められています。

「笑顔になりにくい状況におかれるこどもたちでも、なにか美味しいものを食べた思い出や揚げパンを持ってくる面白いおじさんがいたなと笑顔になってもらえたら嬉しい。この仕組みは、他の飲食店、物販店にもすぐにでも取り組みます。こういった支援の輪が広がり、新たな「笑顔の〇〇プロジェクト」が広がれば優しさにつつまれる社会になるのでは。」と川端さんは熱く語ります。



12月には、川端さんが手がける絵本「地球がやさしさにつつまれる時」の内容をYouTube上で公開するプロジェクトを準備中。またあげパンをECサイトでも販売し、売り上げの向上と寄付をふやし、社会貢献事業への投資の拡大を計画されています。

「パイクとそら」公式HP【<https://paikutosora.com/>】

「笑顔のあげパンプロジェクト」

詳しい活動内容は「[パイクとそら](#)」Instagramをチェック！

**プロジェクトに共感し、仲間になってくれる方を募っています。**

- ① お客さまからの寄付で、大きなムリなく誰かの役に立つ仕組みに取り組む店舗・企業
- ② 取り組みに共感して、発信してくれる方

プロジェクトに興味をお持ちの方は下記までご連絡ください。

withコロナKOBewith応援プラットフォーム運営事務局

TEL：078-945-8800 FAX：078-332-2506

E-mail：kobewith20@pac.ne.jp